

職員向け 児童発達支援評価表

公表：令和3年 3月16日 事業所名 てとてのキッズ（児童発達支援）
 ◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、児童発達支援に配置する職員で行った自己評価です。 職員回答数8名 調査期間：令和4年2月8日～3月4日

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	0	1	0	・利用定員数に対してかなり広いスペースになっています。必要に応じて園庭などを利用しています。
	② 職員の配置数は適切であるか	5	2	1	0	・4名の保育士に加えリハビリ専門職3名を配置しています。職員の急な休み時は、多機能型事業所での他事業所の協力のもと見守りなどのサポート体制をおこなっています
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	0	0	0	・療育室はバリアフリーになっており、障害の個性に応じてトイレの高さなどは福祉用具を利用して調整しております。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	0	0	0	・療育前には室内のマットや玩具等の消毒を毎回実施しています。個別療育時は、静かな個室での実施に努めています。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	1	1	0	・月に1回は、職員全員での業務会議を設け課題と改善を明確にしている。次年度は送迎・活動などの会議体を設けていきます。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	2	0	0	・年に一度は、保護者向け評価を実施しその結果の情報共有に努めています。また改善策についての協議検討の会議を設けていきます。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	0	1	・年に一度は、保護者向け評価を実施しその結果の情報共有に努めています。また改善策についての協議検討の会議を設けていきます。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	0	3	2	・第三者による評価については、必要性を十分に実感しておりますが、評価の実施に至っておりません。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	3	0	1	・今年度は感染拡大の影響もあり、オンラインで参加可能な研修計画となっていました。次年度は、全ての新人職員が事業所外研修を受講できるように努めたいと思います。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7	1	0	0	・利用開始前のアセスメントでは、基本情報や発達記録、SM社会評価、カナダ作業遂行測定など客観的な評価スケールと面談でのニーズ把握に努めています。その後カンファレンスをおこない計画立案となります。主に作業療法士、言語聴覚士と保育士で協働し児童発達支援管理責任者が作成および管理していきます。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2	0	1	・担当の作業療法士が発達個性に応じたアセスメントツールを実施しています。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0	0	0	・発達支援に加えて、保護者のニーズにこたえる家族支援、地域との連携も視野に入れた作成に努めています。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	2	0	0	・支援開始前に個別支援計画の職員周知に努めています。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0	1	・活動プログラムの立案を話し合う機会を設けていきます。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	1	・活動計画は必ず1か月前に作成し目的に応じて固定化しないように児発管・管理者も確認をおこなっています。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	7	1	0	0	・発達課題に応じて個別療育と集団療育が実施されています。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	0	・勤務シフトが3パターンあることや、児童発達支援と放課後等デイサービスを一体的にサービスを提供しているため、朝礼での職員全員集合や十分な時間が取れず伝達にかなりの工夫が必要と思っています。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	2	2	1	・ふりかえりの時間の確保に努めています。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	1	0	0	・毎日経過記録を記載しています。課題発生時は担任と責任者や児童発達支援管理責任者で協議検討しています。
関係機関や保護者との連携	⑳ 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1	0	0	・個別支援計画更新時には必ずモニタリングを実施していきます。個別療育は、リハビリ専門職の意見を取り入れ見直しをおこなっています。
	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	2	0	0	・会議の検討項目に応じて最も適した専門職（児発管・保育士・言語聴覚士・作業療法士・理学療法士）が会議に出席できるようにしています。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	1	0	1	・各行政機関や利用児が通園している保育園、幼稚園に生活面のヒアリングや情報共有をおこなっています。
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	8	0	0	0	・急変や不慮の事故に備えて救急隊への対応書類の作成や、施設内でのコードブルーの活用等の訓練をおこない法人内病院との連携を図っています。
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7	1	0	0	・同上
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	0	0	0	・課題発生時は、保育園等に出向き個別支援会議を開催しております。随時の情報共有は、電話連絡でおこなっています。
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1	1	0	・移行支援として、小学校や行政機関から依頼があった場合は、入学前に意見交換をおこない情報の共有に努めています。保護者との同意の上で本年度も実施予定です。
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	1	1	・課題発生時は、協力機関からの助言を受ける様に努めています。
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	0	5	1	・同一法人内に保育園が設置されていますが、感染拡大の影響もあり、交流の実施に至りませんでした。感染拡大に留意しながらの交流の機会をどのようにもつづけていきたいと思います。
	㉙ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	1	5	1	・子ども部会の研修に参加しております。
保護者の説明責任等	㉚ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1	0	0	・連絡帳で課題が共有できた時は、文書および口頭で対応するように努めています。
	㉛ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	4	3	1	0	・今年度は実施に至りませんでした。次年度の研修計画に挙げていきたいと思います。
	㉜ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	2	0	・契約時および重要事項変更時に説明するように努めております。
	㉝ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	0	0	0	・生活指導・創作・地域交流・余暇活動時間の確保に努めておりますが、児童発達支援計画に十分に反映するには課題を感じる時もあります。
	㉞ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1	0	0	・毎週月曜日療育相談を開催しています。今後は、新規相談会の開催に加え、現在の登録児童の保護者の方へのお知らせや相談対応者の時間の確保に努めていきたいと思います。
	㉟ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	3	4	0	・次年度は、小集団での保護者会の開催やライフステージに沿った保護者連携支援を検討していきたいと思っております。
	㊱ 保護者からの相談や申込みについて、対応の体制を整備することにより、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	0	・相談内容に応じて専門職の面談対応に努めています。現状では、管理者、児童発達支援管理責任者もしくは作業療法士が対応いたします。
	㊲ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	0	0	・月に1回は、児童発達支援事業所のお知らせを発行しています。
	㊳ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	7	0	1	0	・事業所利用開始時に個人情報取り扱いの同意書を作成し、それに沿った運用をおこなっています。発信前のダブルチェックの仕組みを作ります。
	㊴ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1	0	0	・出来るだけ個別にて情報を伝達しています。必要性に応じて視覚支援や文書での疎通を図るように努めています。
非常時等の対応	㊵ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	1	3	2	・感染拡大予防の影響もあり実行できていません。次年度では、感染対策に留意しながら可能な行事活動の計画立案に努めたいと思います。
	㊶ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	1	0	1	・今年度は6月大雨を想定した訓練が実施されました。利用児童参加のもと実際に近い訓練の実施を経験できました。各マニュアルは事業所内で設置されていますが、保護者への周知が徹底されておりません。次年度は発信に努め、保護者に皆さまが閲覧できるようにしていきたいと思っております。
	㊷ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1	1	1	・毎月防災訓練が実施されています。 ・紙芝居等を通じて毎月楽しく学べる訓練を実施していきます。
	㊸ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	0	0	0	・頓服薬につきましては、お薬預かり証により多機能型看護師が管理しています。また必要に応じて協力医療機関の医師にたずねる体制をもっております。
	㊹ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	0	0	0	・おやつ提供については、利用開始前にアレルギーについての文書での聞き取りを保護者に対しておこなっています。医師との連携については給食においてのみ（児童発達支援）主治医師より情報提供書を作成、連携していただき事業所協力医師が法人内管理栄養士（厨房）に指示を出しております。
	㊺ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	0	・ヒヤリハットは全て事業所内でふりかえり・反省・課題・対応策を共有しています。
その他	㊻ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	1	0	0	・虐待・人権委員会の設置と年に2回の研修の実施ができています。
	㊼ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7	1	0	0	・やむを得ず身体拘束をおこなう場合は、管理者はその必要性について法人内の医療安全委員会にて上申し、協議をおこなっています。その結果、個別で保護者面談をおこない方針を説明をし、身体拘束における同意書を作成する仕組みとなっています。